

# 竹害から竹財へ 「厄介ものを宝に変える」プロジェクト

活動地域  宮城県



竹チップ生ごみコンポスト試作の様子

## 課題

昔は暮らして根付いて活用されていた竹は、時代とともに活用されないばかりか厄介者扱いされている。竹藪を手入れする担い手も減少し放置された竹林が問題となっている。

## 目標

放置竹林整備で採取した竹をチップや竹炭等に加工し、生ごみコンポストの基材や土壌改良材等の農業資材として活用することで地域内の資源循環の仕組みをつくる。



## 今後の展望

ネグナッターの本格運用と普及促進及びポーラス竹炭づくりを草の根運動で展開することにより、生ごみの焼却量削減や竹炭での炭素固定によるカーボンマイナスに貢献する等、竹の効用や魅力を積極的に発信していく。

ひろげる助成

1年目

実践

## 活動内容と成果

ボランティアによる月1回の竹林整備作業が恒例行事として定着し、整備面積は約2,250㎡に達した。また、各方面から参加者も増え良きコミュニケーションの場となっている。

間伐により採取した青竹をチップに加工し、生ごみコンポストの基材として活用。コンポストは「ネグナッター」と命名し51基が試験運用されている。

枯れ竹は無煙炭化器によりポーラス竹炭として約1,200kg生産し、希望者に配付し土壌改良材等として活用している。

その他竹あかりワークショップを4回開催する等竹の魅力を発信した。



放置竹林整備ボランティア参加者

竹林整備面積 **2,250㎡**

竹チップ生ごみ  
コンポストの試作 **51基**

今年度計画の達成度 **70%**

全体計画の達成度 **20%**

## 苦勞した点と工夫した点

### ■苦勞した点

竹チップコンポストの試験運用状況をモニター間で共有するための対話の「場」として、ネットやリアルでの対話の機会に配慮した。

### ■工夫した点

竹林清掃ボランティア参加者のランチを竹で手作りした食器で提供する等、竹を前面に出して竹の魅力アピールした。

〒981-2171  
宮城県伊具郡丸森町字船場32番地6  
電話：090-7324-6119  
E-mail：abukuma.31080@gmail.com  
HP：https://www.facebook.com/abukumanosatoyama/?ref=pages\_you\_manage

